

患者 12 様（79 歳男性）のケアマネージャーとして、今週のケア方針をまとめさせていただきます。本日のカンファレンスでの皆様のご意見、医師の指示、そして患者様とご家族の意向を尊重し、季節も考慮した、安心できるケアプランを作成しました。

患者 12 様の状態

患者 12 様は、パーキンソン病、糖尿病、脳梗塞後遺症という複数のご病気をお持ちで、要介護 3 の認定を受けていらっしゃいます。

カンファレンスでは、血圧高値、頻尿、便秘傾向、食欲不振といった症状、日によって意欲に変動があること、疲労感の訴えがあることが共有されました。

ケアプランの目標

医師の指示に基づき、以下の 4 つの目標を立て、患者様が可能な限り快適で自立した生活を送れるよう支援させていただきます。

1. **QOL（生活の質）の維持・向上:** 身体機能、認知機能、精神面の安定を図り、生活満足度を高めます。
2. **合併症予防:** 基礎疾患の管理を徹底し、合併症のリスクを最小限に抑えます。
3. **ADL/IADL の維持・改善:** 可能な範囲で日常生活動作の自立を促し、介護負担を軽減します。
4. **転倒予防:** 転倒リスクを評価し、安全な生活環境を整備します。

今週のケア方針

上記の目標を達成するため、今週は以下の点に重点を置いてケアを実施いたします。

- **看護師によるバイタルチェックの強化:** 毎日、血圧、体温、脈拍を測定し、変動があれば速やかに医師に報告します。また、排泄状況、食事内容、服薬状況なども詳しく記録し、体調の変化を見逃さないようにします。
- **介護士による日常生活のサポート:** 食事、更衣、排泄、入浴などの介助が必要な場合は、無理のない範囲でサポートします。また、可能な範囲でご自身でできることは行っただき、自立を促します。
- **理学療法士によるリハビリテーション:** 個別プログラムに基づき、ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、歩行訓練などを実施します。パーキンソン病に特化した運動療法も検討します。
- **季節に合わせたケア:**
 - 5 月は気温の変化が大きいため、室温や服装の調整に注意します。
 - 水分補給をこまめに行い、脱水症状を予防します。
 - 紫外線対策として、日焼け止めクリームの使用や帽子的着用を促します。
- **精神面のケア:**
 - 患者様の不安や悩みに寄り添い、傾聴を心がけます。
 - 趣味や興味に合わせたレクリエーションを提供し、意欲向上を図ります。
 - 他者との交流を促し、孤立感を軽減します。
- **ご家族との連携:**
 - * ご家族との情報共有を密にし、在宅での生活状況や困りごとなどを把握します。
 - * 介護に関する相談やアドバイスをを行い、ご家族の負担軽減を支援します。
- **多職種連携:**
 - 医師、看護師、介護士、理学療法士など、多職種が連携し、患者様にとって最善のケアを提供します。
 - 定期的にサービス担当者会議を開催し、ケアプランの見直しを行います。

ご家族へのメッセージ

ご家族の皆様、いつも患者 12 様の介護にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回のケアプランは、患者様が安心して快適な生活を送れるよう、多職種が連携して作成したものです。

ご不明な点やご不安なことがございましたら、いつでも私にご連絡ください。

今後とも、患者様とご家族の皆様に寄り添い、精一杯支援させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今後の予定

- 1週間以内にサービス担当者会議を開催し、ケアプランの見直しを行います。
- 1ヶ月後、再度カンファレンスを開催し、ケアの進捗状況を確認します。

患者様、ご家族の皆様にとって、より良いケアプランとなるよう、今後も状況に合わせて柔軟に対応してまいります。

承知いたしました。医師の指示とカンファレンスでの意見を踏まえ、患者 ID：患者 12 さんの今週のケア方針をまとめます。季節（5 月中旬）を考慮し、具体的な内容を記載します。

患者 ID：患者 12 (79 歳男性) 今週の看護ケア方針

期間: 2025 年 5 月 17 日～2025 年 5 月 23 日

目標:

1. バイタルサインの安定と異常の早期発見
2. 服薬アドヒアランスの向上と副作用の早期発見
3. 皮膚状態の良好な維持
4. 口腔内環境の改善
5. 精神的な安定と QOL の向上

具体的な看護ケア内容:

- バイタルサインモニタリング（毎日）：
 - 血圧：朝・夕 2 回測定し、変動（特に高値）があれば医師に報告。活動、食事、服薬との関連を記録。
 - 高血圧対策として、起床時と就寝前の室温を一定に保ち、急激な温度変化を避ける。
 - 測定時は座位で安静を保ち、深呼吸を促す。
 - 体温：午前・午後 2 回測定。発熱時は随時。
 - 脈拍：必要に応じて測定。不整脈の有無に注意。
 - 呼吸：呼吸数、呼吸音、呼吸の深さを観察。呼吸困難感の有無を確認。
 - SpO2：必要に応じて測定。
 - 排泄状況：
 - 頻尿：排尿回数、時間帯（特に夜間）、1 回排尿量を記録。水分摂取量との関連を確認。
 - 便秘：排便回数、性状、排便時の苦痛の有無を記録。
 - 便秘対策として、朝食後に温かい飲み物（白湯、牛乳など）を提供し、排便を促す。
 - 腹部マッサージ（時計回り）を 1 日 2 回（朝・夕）実施し、腸蠕動を促進する。
- 食事：
 - 食欲：食事摂取量（%）、残飯の量、食事内容の嗜好を記録。
 - 食事時間：食事にかかる時間、疲労感の有無を観察。
 - 食欲不振対策として、食事前に口腔ケアを行い、食欲を刺激する。
 - 食事の形態を工夫し（刻み食、ミキサー食など）、食べやすいように調整する。
- 服薬管理：
 - カルシウム製剤：指示通りに内服を確認。
 - インスリン：自己注射の状況を確認。血糖値を測定し、変動を記録。

- 血糖値が高い場合は、医師に報告し、指示を仰ぐ。
- 薬剤の副作用観察：
 - 頻尿：利尿作用のある薬剤の服用時間を確認し、必要に応じて変更を検討する。
 - 便秘：緩下剤の使用状況を確認し、効果がない場合は医師に報告。
- 服薬時間、方法を再確認し、必要に応じて服薬カレンダーを活用する。
- スキンケア：
 - 全身の皮膚観察：発赤、乾燥、掻痒感、褥瘡の有無を確認。
 - 皮膚の乾燥対策として、入浴後、または清拭後に保湿剤を塗布する。
 - 褥瘡予防のため、体位変換を2時間毎に行う。
 - 清拭時は、皮膚を摩擦しないように優しく行う。
 - 必要に応じて、保湿剤、保護剤を使用する。
- 口腔ケア：
 - 食前、食後、就寝前の口腔ケアを実施。
 - 歯ブラシ、歯間ブラシ、口腔用ウェットティッシュを使用し、口腔内の清潔を保つ。
 - 口腔乾燥対策として、保湿ジェルやスプレーを使用する。
 - 嚥下機能に問題がない場合は、うがいを促す。
 - 口腔内の炎症、出血、口臭の有無を確認。
- 精神的サポート：
 - 傾聴：患者様の不安や悩みを聞き、共感する姿勢を示す。
 - コミュニケーション：積極的に話しかけ、孤立感を軽減する。
 - 昔の話や趣味の話など、患者様が興味を持つ話題を提供する。
 - 季節の話題（5月の花、新緑など）を取り入れ、会話を盛り上げる。
 - 回想法：過去の出来事や思い出を語ってもらい、認知機能の活性化を図る。
- その他：
 - 室温、湿度調整：快適な室温（22～25℃）、湿度（40～60%）を保つ。
 - 換気：1日に数回、換気を行い、空気の入替えを行う。
 - 日中の過ごし方：可能な範囲で日光浴を促し、生活リズムを整える。
 - 介護士、理学療法士、ケアマネージャーとの連携を密にし、情報共有を行う。

留意事項:

- 患者様の状態は日々変化するため、上記ケア内容は柔軟に対応する。
- 異常が見られた場合は、速やかに医師に報告し、指示を仰ぐ。
- 患者様、ご家族の意向を尊重し、ケアを提供する。

今週の重点項目:

- 高血圧のコントロール
- 便秘の改善
- 精神的な安定

上記ケア方針に基づき、今週の看護ケアを実施いたします。

患者 ID：患者 12 さんの今週のケア方針について、医師の指示とカンファレンスの内容に基づき、以下の通りまとめます。季節は5月中旬であることを考慮し、患者様が楽しめる要素も取り入れていきます。

今週のケア方針

1. 総合目標の再確認

- 患者様の QOL（生活の質）維持・向上、合併症予防、ADL/IADL の維持・改善、転倒予防を目標としま

す。

- 患者様、ご家族の意向を尊重し、ケアプランに反映します。

2. 看護師との連携

- 毎日のバイタルサイン（血圧、脈拍、体温、呼吸）測定結果を共有し、看護師に報告します(RAG: 249)。特に血圧高値、頻尿、便秘傾向、食欲不振に注意します。
- 服薬状況（カルシウム製剤、インスリン）を確認し、自己注射の状況、血糖値の変動を把握し、看護師に報告します。
- 皮膚の状態を観察し、乾燥や褥瘡予防に努めます。
- 口腔ケアを行い、食欲不振の改善を目指します。

3. 介護士の役割

- **ADL/IADL の見守り・介助:**
 - 食事、更衣、排泄、入浴など、必要な介助を行います。
 - 可能な範囲で自立を促し、できることはご自身で行っていただきます。
- **転倒予防対策:**
 - 居室内の整理整頓、手すりの設置状況を確認します。
 - 移動時の見守り、声かけを徹底します。
- **レクリエーションの実施:**
 - 患者様の趣味や興味に合わせた活動を提供し、意欲向上を図ります。
 - 他者との交流を促し、孤立感を軽減します。
 - **今週のレクリエーション**
 - **園芸:** 天候の良い日に、プランターで育てている花の手入れを一緒に行います。
 - **音楽療法:** 患者様の好きな音楽を聴いたり、一緒に歌ったりします。
 - **回想法:** 患者様の若い頃の写真を見ながら、思い出話を聞きます。
 - **ゲーム:** 簡単なカードゲームやボードゲームを行います。
- **排泄介助:**
 - トイレ誘導、排泄後の清潔保持を行います。
 - 排泄記録に基づき、排泄パターンを把握し、適切なタイミングでトイレ誘導を行います。
- **食事介助:**
 - 食事の形態、量、味付けなど、患者様の好みに配慮します。
 - 食事中の姿勢、嚥下状況を確認し、誤嚥予防に努めます。
- **情報共有:**
 - 看護師、理学療法士、ケアマネージャーと密に連携し、患者様の状態変化を共有します。

4. 理学療法士との連携

- 理学療法士による個別プログラムに沿って、運動療法、認知課題、高次脳機能訓練を行います。
- 運動療法では、ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、歩行訓練などを実施します。
- 住宅環境の評価結果に基づき、手すりの設置、段差解消など、安全な生活環境整備をサポートします。

5. ケアマネージャーとの連携

- サービス担当者会議で決定したケアプランに基づき、サービスを提供します。
- 患者様の状態やニーズの変化をケアマネージャーに報告し、必要に応じてケアプランの見直しを検討します(RAG: 275)。
- ご家族との情報共有を密にし、在宅での生活状況や困りごとなどを把握します。

6. 季節への配慮

- 5月中旬であり、日中は気温が上がるため、こまめな水分補給を促します。
- 室温調整を行い、快適な環境を保ちます。
- 天候の良い日は、短時間でも日光浴を行います（紫外線対策を忘れずに）。

7. 記録の徹底

- 患者様の状態、サービス内容、気づいた点などを詳細に記録します。
- 多職種間で情報を共有し、チームとして連携します。

8. その他

- 患者様の訴えに耳を傾け、不安や悩みに寄り添います。
- 笑顔で接し、安心感を与えられるよう努めます。

9. 今日の状況

- 朝食は半分程度摂取。
- 日中はレクリエーションで他の利用者と交流し、笑顔が見られた。
- 排便はなし。
- 夕食前のバイタルサイン：血圧 148/86mmHg、体温 36.8℃、脈拍 78 回/分。

次回のカンファレンス

- 1ヶ月後に再度カンファレンスを開催し、ケアの進捗状況を確認します。

備考

- このケア方針は、患者様の状態やニーズの変化に応じて、柔軟に見直すものとします。
- 急変時の対応については、事前に多職種と共有しておきます。

以上、よろしくお願いいたします。

承知いたしました。医師の指示、カンファレンスでの意見、そして本日の状況と季節を考慮し、患者 ID：患者 12 さんの今週のケア方針を看護師として具体的にまとめます。

患者 ID：患者 12 (79 歳男性) 今週の看護ケア方針 (2025 年 5 月 17 日～)

1. 現状把握と課題の再確認

- **基礎疾患:** パーキンソン病、糖尿病、脳梗塞後遺症
- **バイタルサイン:** 血圧高値（変動あり）、頻尿、便秘傾向、食欲不振
- **精神面:** 意欲の変動、疲労感
- **季節:** 5月中旬、日中は気温が上がりやすい。寒暖差に注意。
- **本日(5/17)の状況:**
 - 午前中の血圧が高め（160/90mmHg）。
 - 朝食は半分程度しか摂取せず。
 - 日中は傾眠傾向。
 - 夕方、介護士とのレクリエーションには意欲的に参加。

2. 今週の看護目標

- 血圧の安定化と変動要因の把握
- 排尿・排便コントロールの支援
- 食欲不振の改善と栄養状態の維持
- 皮膚状態の観察と褥瘡予防
- 口腔内清潔の保持
- 精神的な安定と意欲の向上
- 転倒予防の徹底

3. 具体的な看護ケア計画

項目	ケア内容	観察項目・留意点
バイタルサイン測定	1日2回（午前・午後）血圧測定。変動要因（活動、食事、服薬、精神状態）を記録。	血圧の急激な変動、起立性低血圧の有無。高血圧緊急時の対応準備。
服薬管理	カルシウム製剤、インスリンの確実な投与。自己注射の状況、血糖値の変動を把握。薬剤の副作用（頻尿、便秘など）の有無を観察。	インスリン投与後の低血糖症状（冷や汗、震え、意識レベル低下）。内服薬の飲み忘れ、飲み間違いの防止。
排泄ケア	排尿パターン（時間、量、性状）の記録。便秘に対するアセスメント（食事、運動、内服薬の影響）。必要に応じて緩下剤の使用（医師指示）。	夜間頻尿による睡眠不足、転倒リスク。便秘による腹部膨満感、食欲不振。排泄後の皮膚状態観察。
食事ケア	食欲不振の原因（食事内容、時間、場所、精神状態）を特定。食事形態の工夫（軟菜、刻み食など）。栄養補助食品の検討（医師・栄養士と相談）。口腔ケアの実施。	食事摂取量の変化、嚥下困難の有無、食事中のむせ込み。脱水症状の有無。
スキンケア	1日1回の全身観察。乾燥部位への保湿剤塗布。褥瘡発生リスク部位（仙骨部、踵など）の観察と保護。体位変換の実施（2時間毎）。	皮膚の乾燥、発赤、びらん、褥瘡の兆候。
口腔ケア	食後、就寝前の口腔清掃。口腔内の乾燥を防ぐための保湿。義歯の清掃、調整。	口腔内の炎症、口臭、舌苔の付着。義歯の不適合。
精神的	患者様の訴えに傾聴。不安や悩みへの共感。レクリエーションへの参加を促す。回想法や音楽療法などの導入（必要に応じて）。	抑うつ状態、不眠、意欲低下。

項目	ケア内容	観察項目・留意点
サポート		
転倒予防	居室内の整理整頓、手すりの設置、適切な履物の使用。移動時の見守り、声かけ。歩行状態の観察。理学療法士と連携し、転倒予防のための運動プログラムを実施。	ふらつき、バランス能力の低下、視力低下。
その他	環境整備：室温・湿度管理（必要に応じて加湿器の使用）。日中は日光浴を促す。	発熱、咳、呼吸困難など感染症の兆候。
多職種連携	介護士：ADL/IADLの見守り・介助状況、レクリエーションへの参加状況、患者様の表情や言動を共有。理学療法士：運動療法、歩行訓練の進捗状況、患者様の運動能力の変化を共有。ケアマネージャー：ケアプランの進捗状況、患者様・ご家族の意向を共有。医師：バイタルサイン、検査結果、薬剤調整について相談。	各職種からの情報に基づき、ケアプランを適宜修正。

4. 留意事項

- **患者様の意向尊重:** ケアプランは患者様の意向を最大限に尊重し、同意を得てから実施します。
- **記録の徹底:** 実施したケア内容、患者様の状態変化、気づいた点などを詳細に記録します。
- **緊急時対応:** 急変時の対応手順を確認し、迅速かつ適切な対応ができるように準備します。
- **感染予防:** 手洗い、手指消毒を徹底し、感染症の予防に努めます。
- **暑さ対策:** こまめな水分補給を促し、室温管理を適切に行い、熱中症を予防します。
- **カンファレンスへの参加:** 定期カンファレンスに積極的に参加し、情報共有と連携を密にします。

5. 今後の予定

- 毎日のバイタルサイン測定と記録
- 週明けに介護士、理学療法士と情報交換
- 必要に応じて医師に報告・相談
- 1週間後のカンファレンスでケアの進捗状況を報告

上記計画に基づき、患者様が安心して快適な生活を送れるよう、心を込めて看護ケアを提供いたします。